

第2期対策計画の取組の基本方針（骨子）

基本方針（案）
①第1期対策計画の重点項目で、未対策箇所が多い項目は「継続」して設定 ※同等の効果が認められる代替措置が講じられている場合は対策済とする
②ハード対策のみならず、ソフト対策も含め重点項目を設定
③BCP関連項目（備蓄品、事業所の耐震化、優先業務、活動拠点など）を新たに設定
④津波避難計画の見直しに関し、人命尊重の観点から内容をさらに精査し、休日等の訓練など優先度の高い内容を重点項目として設定

【重点項目（案）】


 は新規項目 は追加・変更項目

重点項目（案）		チェックポイント
新1	緊急遮断弁の設置（重点4）	* <u>緊急遮断弁の設置、または緊急遮断措置に関する社内規程の整備及び訓練実施などの代替措置が確立されているか</u>
新2	管理油高（下限値）の見直し（重点5）	* <u>管理油高の見直し、または漂流の恐れのあるタンクへの注水等に関する社内規程の整備及び訓練実施などの代替措置が確立されているか</u>
新3	重要施設等の浸水対策	* <u>通信設備、非常用発電機、自衛消防車両の高所移転など、具体的な浸水対策を行っているか</u>
新4	事務所の耐震化	* <u>防災要員の活動拠点、従業員の避難場所の耐震化を行っているか</u>
新5	安全に係る企業活動の再点検	* <u>安全の確保や災害の防止に対する企業活動（日常点検、作業マニュアルの整備、防災マニュアルの整備など）について、定期的に再点検を実施しているか</u>
新6	近隣事業所間の情報共有の強化	* <u>発災状況伝達に関し、近隣事業者との連絡網の整備及び情報伝達訓練を定期的実施しているか</u>
新7	BCP計画の策定	* <u>災害対応拠点の確保、備蓄品やマニュアルの見直しなどBCP計画として整備しているか</u>
新8	津波避難計画の見直し	* <u>休日夜間を想定した避難の規程整備及び訓練実施、連絡手段の確保などを設定しているか</u>

＜参考＞ 第1期対策計画の重点項目

重点1（法定） 浮き屋根式タンクの耐震化

重点2（法定） 準特定タンクの耐震化

重点3（自主） 球形高圧ガスタンクの鋼管ブレースの耐震化

重点4（自主） 緊急遮断弁の設置

重点5（自主） 管理油高（下限値）の見直し

重点6（自主） 津波避難計画の見直し

【とりまとめ・公表に関する基本的な考え方（案）】

○第1期対策計画と同様に、重点項目については事業所全体の進捗状況を取りまとめる。また、重点項目以外の取組みについては、水平展開を念頭において内容を取りまとめる

○ソフト対策に係る重点項目は、毎年の取組みが少しずつ前進していることがわかるような実績報告様式とする

※重点項目案「安全に係る企業活動の再点検」の各事業者の実績報告記入例

対策項目	対策計画書	実績報告		
		H29	H30	H31
日常点検項目の確認・見直し	○	老朽施設を中心に、点検項目を確認し、△△△プラントの項目を見直し	—	—
作業手順の確認・見直し	○	△△△プラントの作業手順書を見直し	応急対応訓練の結果をもとに、△△△プラントの作業手順書を確認	—
訓練の実施	○	—	△△△プラントの発災時の応急対応訓練を実施	△△△プラントの発災時の応急対応訓練を継続実施
休止施設の点検	—（施設なし）	—	—	—